

2025年10月3日

他自治体での防疫支援実例 (集合施設運営及び殺処分対応事例)

株式会社阪急交通社
ソリューション事業部

秋本 直樹



1. はじめに











2023年春に茨城県様からご相談をいただき、
2023年秋から防疫業務への体制を整えました

過去の実例や自治体様主催の防疫演習に加え、日頃から旅行会社
として培った知見を基に防疫業務をサポートいたします

畜産関係部局様のご負担を減らすための一助となれば幸いです

2. 主な受託業務

経験者を中心に緊急手配 スピード感をもって防疫業務を行います

1. 集合施設等の設営  発生当日の設営にかかる人員をご手配いたします。	2. 運営スタッフの手配  事務スタッフ・衛生管理スタッフ等運営内容に応じたスタッフを派遣いたします。	3. 医療事務スタッフ手配  看護師・介護士を手配いたします。 <small>(医師・薬剤師は法令上行いません)</small>	4. 殺処分人員手配  殺処分等の人員を手配します。	5. 重機オペレータ手配  フォークリフト・クレーン等の重機オペレータから、トラック等の車両ドライバ等をご手配いたします。
6. 備品・食品・飲料手配  必要な備品を迅速に供給します。また、物品の供給が滞らないよう、在庫管理を行い、適切な数量を発注いたします。 <small>(文具品・医療備品・大型備品等)</small>	7. コールセンター  現場にて各方面からくる連絡・問い合わせに対応します。	8. データ管理  データを一元管理。データを基にした、必要書類の作成を行います。	9. バス・宿泊等手配  移動に必要な車両・トラックや、宿泊ホテル等をご準備いたします。	10. 各種精算業務  緊急時の請求書支払い等を行います。

上記は一例です。ご相談ください。

HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD. Solution Division

3

3. 防疫措置 実績一覧

(2025年9月 現在)

これまで**13事例**に対応

鳥インフルエンザ

2024年4月 千葉県富里市
 10月 千葉県香取市
 11月 新潟県胎内市
 11月 宮城県石巻市
 12月 茨城県八千代町

2025年1月 愛知県常滑市
 1月 千葉県銚子市・旭市・匝瑳市
 1月 岩手県盛岡市

2024年8月 新潟県新発田市
 2025年3月 千葉県旭市
 4月 群馬県前橋市
 5月 群馬県前橋市

2025年8月 熊本県甲佐町

GW期間

バス手配困難期間

年末年始期間

同時多発事例

冬季厳寒期

夏季酷暑期

年度末新年度

夏季酷暑期

豚熱

災害支援

3. 防疫措置 実績一覧

令和6年度

発生場所	期間	規模	役割内容
千葉県 / 富里市	4/28~5/28	約6.3万羽	人員手配数 延べ1,500人 ■殺処分人員手配 ■トラック・フォークリフト等の車両・オペレータ ■県庁リエゾンのためのスタッフ・バス管理スタッフ ■マイクロバス ■ハイヤー ■買い物回リスタッフ ■消毒ポイント物資補給人員・車両
新潟県 / 新発田市 (豚熱)	8/15~8/17	約450頭	人員手配数 延べ240人 ■殺処分人員手配
千葉県① / 香取市	10/22~10/26	約3.7万羽	車両手配数 延べ98人 人員手配数 延べ195人 ■トラック・フォークリフト等の車両・オペレータ ■県庁リエゾンのためのスタッフ・バス管理スタッフ ■マイクロバス ■ハイヤー ■買い物回リスタッフ ■消毒ポイント物資補給人員・車両
新潟県② / 胎内市	11/6~11/12	約33.7万羽	車両手配数 延べ80台 人員手配数 延べ1,000人 ■殺処分のための人員手配および、当社人員のための■大型バス
宮城県① / 石巻市	11/10~11/16	約12.3万羽+約 4.8万羽	人員手配数 延べ約1,050人 ■殺処分のための人員 ■埋却地作業補助人員 ■支援センター運営補助人員 ■車両消毒のための人員 ■物品調達 ■携帯電話
茨城県① / 八千代町	12/29~1/17	約107.9万羽	人員手配数 延べ約1,130人 ■支援センター運営補助のための人員 ■農場前テントサポートのための人員 ■看護師 ■殺処分のための人員 ■トラック・フォークリフト等の車両・オペレータ ■卵処理・埋却地サポートのための人員 ■県庁リエゾンのためのスタッフ・バス管理スタッフ

HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

5

3. 防疫措置 実績一覧

令和6年度

発生場所	期間	規模	役割内容
愛知県①~⑬ / 常滑市	1/2~2/1 1/5~2/5 1/9~2/4 1/10~1/30 1/11~1/30 1/16~1/31 1/19~2/4	約14.4万羽 約12.0万羽 約12.9万羽 約5.7万羽 約11.2万羽 約1.7万羽 約8.3万羽 約12.6万羽 約20.6万羽	人員手配数 延べ約8,000名 ■資材運搬 ■食料調達 ■殺処分のための人員 ■大型バス手配 ■消毒散水車の 人員 ■フォークリフトオペレーター
半田市	1/19~2/4	約12.6万羽	
常滑市	1/19~1/30	約5.9万羽	
阿久比町	1/19~1/28	約25.4万羽	
常滑市	1/21~2/9	約12.7万羽	
半田市	1/31~2/15	約42.5万羽	
千葉県②~⑭ / 銚子市	1/12~2/6 1/15~2/13 1/16~1/27 1/18~1/31 1/19~2/27	約40.8万羽 約40.8万羽 約3.7万羽 約47.8万羽 約26.8万羽 約36.3万羽	車両手配数延べ 約300台 人員手配数 延べ7,300人 ■初動のためのスタッフ ■マイクロバス ■ハイヤー ■消毒ポイント物資補給人員・車両 ■トラック・フォークリフト等の車両・オペレータ ■サブステーション（集合施設）の運営人員 ■殺処分人員の手配依頼あり 等
旭市	1/19~2/12	約1.7万羽+約11.7万羽+約1.7万羽	
銚子市	1/24~2/27	約38.5万羽	
旭市	1/28~2/14	約7.9万羽	
銚子市	1/28~2/19	約24.2万羽	
匝瑳市	1/28~2/8	約22.0万羽	
旭市	1/29~2/12	約3.5万羽	
	1/31~2/26	約7.4万羽	
匝瑳市	1/31~2/12	約8.0万羽	
旭市	2/1~2/21	約9.1万羽	
岩手県④⑤ / 盛岡市	1/22~1/31	約35.8万羽 約30.4万羽	人員手配数 延べ約360人 ■殺処分人員手配 (8時間*3クール/1日)

HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

6

3. 防疫措置 実績一覧

令和7年度

発生場所	期間	規模	役割内容
千葉県 / 旭市 (豚熱)	3/31~4/14	約5,480頭	車両手配数延べ約80台 人員手配数 延べ約900人 ■初動のためのスタッフ ■マイクロバス ■ハイヤー ■消毒ポイント物資補給人員・車両 ■トラック・フォークリフト等の車両・オペレーター ■サブステーション（集合施設）の運営人員 等
茨城県 / 茨城町 (豚熱)	4/1	約100頭 約70頭	人員手配数 41人 ■農場内作業スタッフ ■サポート拠点スタッフ ■フォークオペレーター ■看護師
群馬県 / 前橋市 (豚熱)	4/8~4/14	約6,800頭	人員手配数 延べ450人 ■フォークオペレーター 手配 ■殺処分人員手配
群馬県 / 前橋市 (豚熱)	5/12~5/13	約460頭	人員手配数 延べ25人 ■フォークオペレーター 手配 ■殺処分人員手配

HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

7

4. 各自治体様への防疫演習 参加実績

(2025年9月 現在)

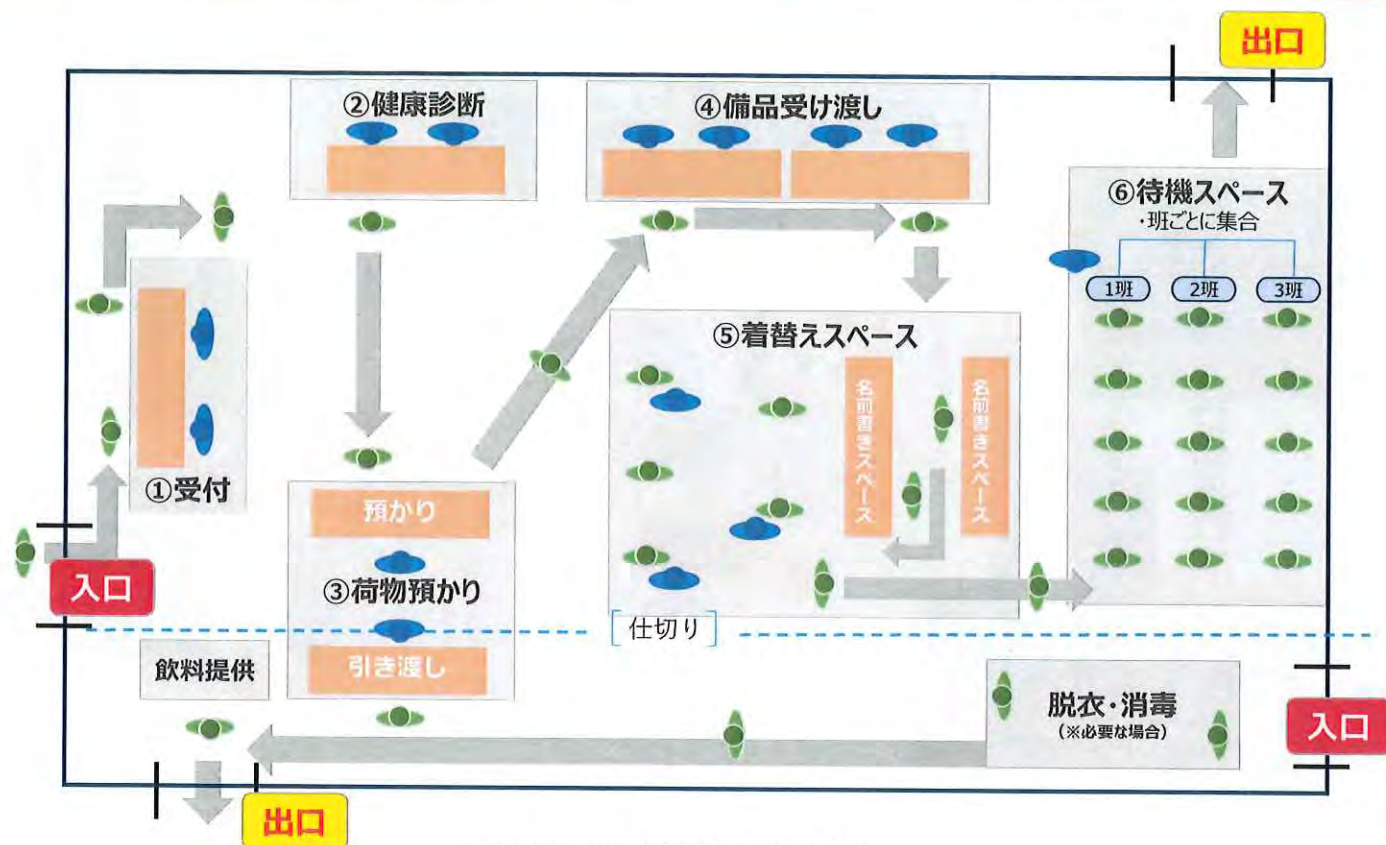
都道府県	23年度	24年度	25年度	都道府県	23年度	24年度	25年度	都道府県	23年度	24年度	25年度
北海道			参加予定	石川県				岡山県	○		参加予定
青森県				福井県			参加予定	広島県			
秋田県		○	参加予定	山梨県				山口県		○	○
岩手県			参加予定	長野県		○	参加予定	徳島県			
山形県	○	○	○	岐阜県			参加予定	香川県		○	参加予定
宮城県	○		参加予定	静岡県		○	参加予定	愛媛県			参加予定
福島県			参加予定	愛知県	○	○	○	高知県		○	参加予定
茨城県	○	○	参加予定	三重県				福岡県		○	参加予定
栃木県				滋賀県	○		○	佐賀県			○
群馬県		○	参加予定	京都府				長崎県			
埼玉県		○	参加予定	大阪府				熊本県	○	○	参加予定
千葉県	○	○	参加予定	兵庫県	○	○	○	大分県		○	
東京都				奈良県				宮崎県		○	
神奈川県		○	参加予定	和歌山県				鹿児島県		○	
新潟県	○	○	○	鳥取県			参加予定	沖縄県			
富山県			参加予定	島根県							

HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

8

5. 集合施設 設営一例

● = 集合施設運営スタッフ
● = 殺処分スタッフ



HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

9

5. 集合施設 設営・運営のポイント

設営

- ①農場出発者と帰還者の導線を交差させない（入口2か所・出口2か所）
- ②農場出発者のスペースを**全体の半分以上**とる
- ③農場帰還者の待機スペースを確保

受付

- ①名簿ごと、団体ごとに受付
- ②団体名を高く掲示
- ③まずはトイレを案内

健康調査

- ①調査票の記載漏れ確認
- ②必要に応じて血圧測定（自治体基準による）
- ③体調不良の場合、受付担当者に共有
- ④筆記具の準備
- ⑤ペーパーレス化に伴いWEB化も検討

誘導

- ①滞留しないように、**誘導員が先導**

荷物預け

- ①袋に名前・班名の記載漏れがないか確認
- ②荷物札をしっかりと取り付け
- ③携帯電話は**アラームを切る**ようながす
- ④一度預かった荷物は「班ごと保管」「移動させない」

資材受け渡し

- ①従事者が立ち止まらないよう渡す、または、受領できるよう配置する
- ②準備しておくといもの（長く23cm・30cm）・ハッカ油
- ③ゴーグルのすべり止めは事前に塗っておく
- ④**備品数の管理**。提示に管理し報告

PPE着衣

- ①マネキン・着替え画像を事前準備
- ②着衣の為の補助スタッフは必須
- ③**鏡を準備**（きちんと着脱できているか確認）
- ④班わけのための工夫（ビブス・腕章等）

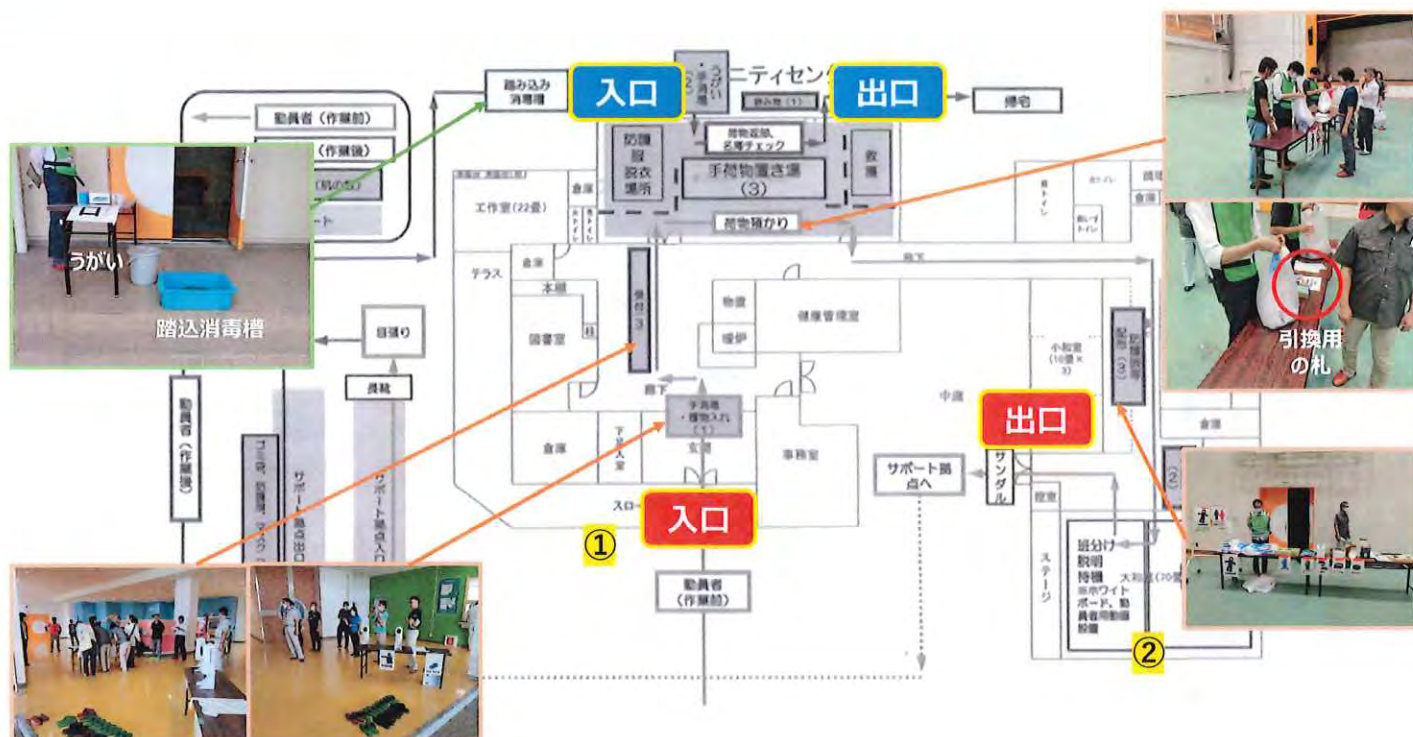
出発準備

- ①人数・出発帰着時間の管理
- ②現場農場との連絡無線
- ③**バス運行情報の視覚化**（ホワイトボード・マグネット等）

HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

10

5. 集合施設 実例①



HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

11

5. 集合施設 実例②



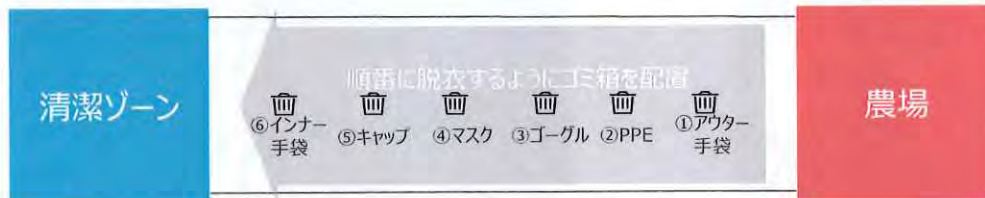
HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

12

6. 農場前テント運営

農場から出る際の脱衣は、**感染対策の最重要点。**

- ①可能な限り**広く設営**
- ②**備品数の管理**
- ③**集合施設とのバス運行管理**
- ④**体調不良者の初期対応**
- ⑤**作業終了者の消毒**
- ⑥**脱着補助**
目張りのためのテープ張には、バケツが便利
- ⑦**脱衣方法の明確化**



HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

13

8. 農場内

班編成

班は10～15名程度を人班としてリーダーをおく（ピブス着用）

リーダーは

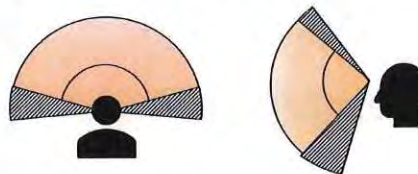
- * 作業全体の流れの把握
- * 状況を見て、作業員の配置換え
- * 作業員の体調管理
- * 作業員の休憩管理 等を行う

作業の進捗状況を常に注視

作業員の安全確保

防護服着用後は、通気性が悪いので暑く体調不良になりやすい！

視界も悪いので、各所気配りが必要！



高所での作業

乗らない！ 集卵ベルト・給餌ベルト

工夫

- ①班編成ごとに目印をつける
- ②背中の名前はマジック直書きより蛍光シール
- ③死んでいる鳥の回収から作業を開始
(作業動線の確保および、腐敗臭の発生を抑える・作業員の体調管理を考慮等)
- ④フレコンバックの回収方法（古いものから回収）
- ⑤ゴーグルの曇り止めは必須（特に雨天時）

その他

- ①声をかけながらの作業（重機の音・豚の鳴き声）
- ②視界が狭いので注意が必要
- ③作業効率UPの為に工夫
- ④フォークリフト等の重機運転の際の足場確認
(ぬかるみ・雨天時は特に要注意)



HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

14

9. 休憩所（農場隣接）



必要な備品

暖房器具、飲料・軽食、時計、簡易の水道

HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

15

10. イレギュラー対応

起こりうるイレギュラー

対策

- Case 1 電源が足りない**
各所に電化製品を使うとき、公民館や体育館の施設では、電源がとれるところが限られているので、あとから電工ドラムを追加で発注するケースや、機材が多すぎた為電源容量が足りず集合施設のブレーカーが落ちるというケースがあった。
- Case 2 運営中に急遽防疫資材が足りなくなった**
十分に資材を準備していたつもりだったが、不慮のトラブルや急遽発生した作業に必要な備品が出てきてしまった。
- Case 3 農場行スタッフの準備遅延**
スタッフの着替えやアナウンスの遅さ等による遅延により、集合施設出発する時間が大幅にずれてしまう。リーダーも同じバスに同乗予定であったが出発が遅れた為、現場での引継ぎ時間が取れずスケジュールのズレが発生。
- Case 4 スタッフの防寒・熱中症対策**
春や秋の涼しい季節でも農場の中では過酷な環境となる。実際に4月末に起こった事例でも日中は熱中症対策、夜は防寒対策が必要となるケースがあった。

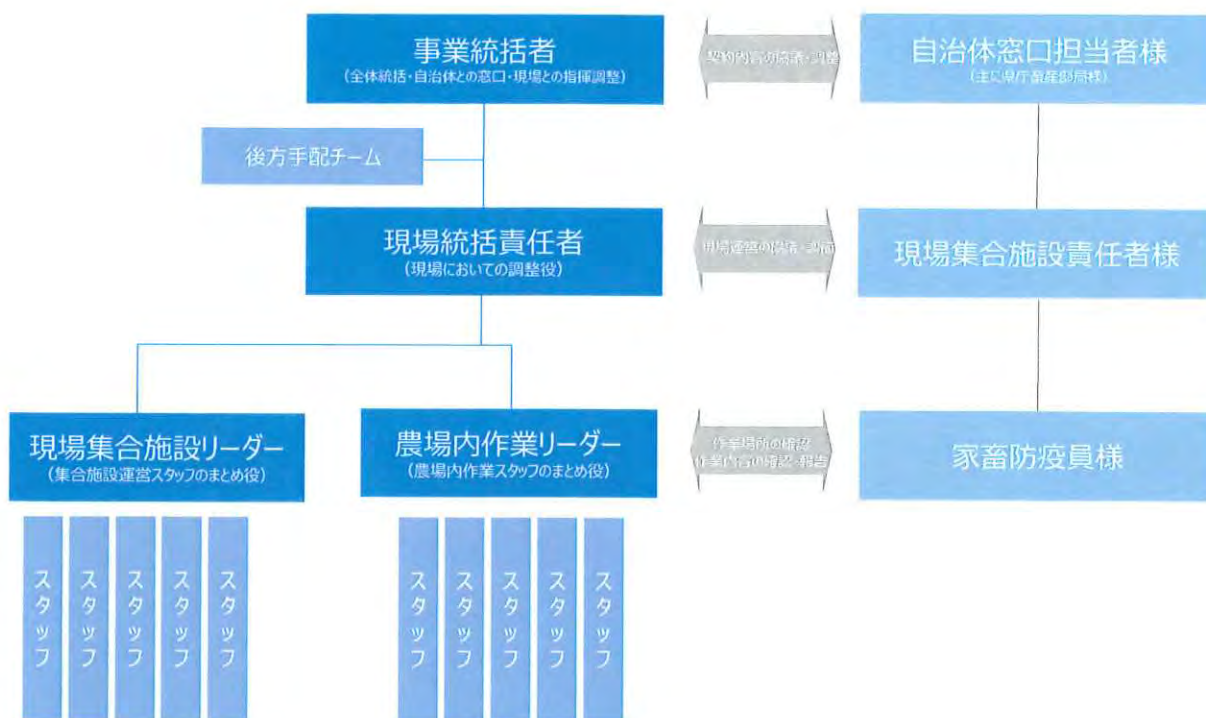
- Solution**
あらかじめ施設に電源の数を確認
集合施設の設営の段階で電源数や電源容量を確認しておく。コンセントは中央付近まで電源を引っ張ることを想定。ブース設計は人員配置をみて各ブースのタップ電源数を決定。電源を伸ばしたあとは、養生テープなどで配線をまとめておく。また容量が足りない場合を想定して発電機等の事前準備をしておく。
- Solution**
資材の在庫量が一目で分かるように管理
資材の在庫量が一目で確認出来る管理方法を準備し、トラブルの際にどの程度補充が必要なのか迅速に判断出来るようにする。また、資材調達班との連携を密に取り、不足の際は速やかに準備出来る様に資材調達班でも在庫を把握してもらう事で速やかな補充を行う。周辺のホームセンターやスーパー等の在庫確認を前もって行うことも重要。
- Solution**
出発時間の徹底、緊急時のタクシー利用
出発時刻を厳守し、周知徹底。バスは原則タイムスケジュール通りの運航を実施する。やむを得ない事情やトラブルが発生した場合は手配しているタクシーによって別途人員・物資輸送を行うことで全体的なスケジュールを遅らせることを防ぐ。
- Solution**
事前に備える
春秋は判断が難しい時期となるが、防寒・暑さ対策の両方を準備しておいた方が良い。事前に準備しスタッフから要望があった際に素早く対応することで、スタッフの負担を減らしていくことを常に心掛ける。

HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

16

11. 体制

(2025年9月 現在)



HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

17

株式会社 阪急交通社
HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.

<https://www.hankyu-travel.co.jp/>

ソリューション事業部

担 当 | 平藤実 秋本直樹

住 所 | 東京都港区新橋3-3-9 KHD東京ビル

T E L | 03-6745-8288

